

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	信託期間は2024年3月22日から無期限です。	
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	米国大型テクノロジー株式ファンド	下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	米国大型テクノロジー株式マザーファンド	米国の金融商品取引所等に上場している株式を主要投資対象とします。
組入制限	米国大型テクノロジー株式ファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。 デリバティブ取引は、ヘッジ目的に限定します。
	米国大型テクノロジー株式マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。 デリバティブ取引は、ヘッジ目的に限定します。
分配方針	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。	

当ファンドは特化型運用を行います。

当ファンドは、実質投資対象である米国の金融商品取引所等に上場しているマグニフィセント・セブン(M7)に集中投資することを基本戦略としており、一般社団法人投資信託協会規則で定める寄与度が10%を超える支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中します。

当該銘柄のエクスポートジャーナルが投資信託財産の純資産総額の35%を超えないように運用を行いますが、当該銘柄に財政難、経営不振等が生じた場合又はそれが予想される場合には、大きな損失が発生することがあります。

米国大型テクノロジー株式ファンド (愛称:マグニフィセント・セブン)

運用報告書(全体版)

第1期(決算日 2025年3月26日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。さて、当ファンドはこのたび上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申しあげます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

- 口座残高など、お客様のお取引内容についてのお問い合わせをお取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル:0120-668001
(受付時間は営業日の午前9時~午後5時です。)

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額および税込分配金は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他的一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率				
設定日(2024年3月22日)	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 50
第1期(2025年3月26日)	12,250	0	22.5	98.1	—	—	11,315

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は「買建比率－売建比率」です。

当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率			
(設定日) 2024年3月22日	円 10,000	% —	% —	% —	% —
3月末	9,883	△1.2	103.6	—	—
4月末	10,297	3.0	98.2	—	—
5月末	10,854	8.5	98.5	—	—
6月末	12,301	23.0	97.7	—	—
7月末	11,056	10.6	98.9	—	—
8月末	10,612	6.1	98.6	—	—
9月末	11,203	12.0	97.4	—	—
10月末	12,549	25.5	98.3	—	—
11月末	12,737	27.4	97.6	—	—
12月末	14,738	47.4	96.6	—	—
2025年1月末	14,246	42.5	96.7	—	—
2月末	12,331	23.3	98.8	—	—
(当期末) 2025年3月26日	12,250	22.5	98.1	—	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

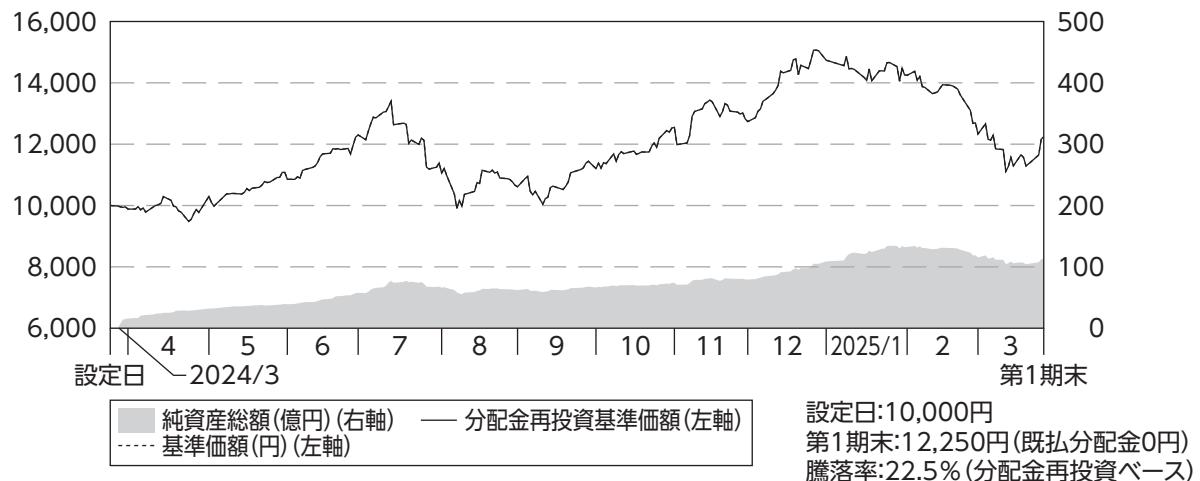
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は「買建比率－売建比率」です。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移



基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

生成AI（人工知能）市場拡大への期待感から、米国大型テクノロジー株式マザーファンドで保有する銘柄群が堅調に推移したことから、基準価額は上昇しました。

投資環境



米国株式市場は、生成AI(人工知能)市場拡大への期待感から上昇しました。トランプ大統領による関税政策などが経済に及ぼす影響が懸念され下落する場面もありましたが、期を通じて上昇して終えました。

当ファンドのポートフォリオ

米国大型テクノロジー株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所等に上場している米国を代表する大型テクノロジー株式7銘柄に集中投資することを基本戦略とし、中長期的な信託財産の成長を目指し運用を行いました。

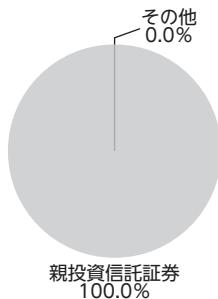
当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド

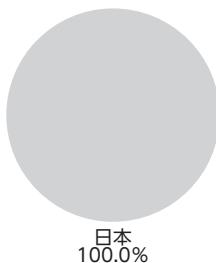
	当期末
	2025年3月26日
米国大型テクノロジー株式マザーファンド	100.0%
その他	0.0%
組入ファンド数	1

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

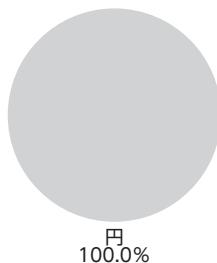
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。
その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

分配金

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきました。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第1期	
	2024年3月22日～2025年3月26日	
当期分配金 (円)		—
(対基準価額比率) (%)		(—)
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		2,250

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注3)ー印は該当がないことを示します。

今後の運用方針

米国大型テクノロジー株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国を代表する大型テクノロジー株式7銘柄(以下、「マグニフィセント・セブン」又は「M7」と呼びます)に集中投資することを基本戦略とします。

マグニフィセント・セブン(M7)とは、アマゾン・ドット・コム、アップル、アルファベット、エヌビディア、テスラ、マイクロソフト、メタ・プラットフォームズの7銘柄を指します。

各銘柄には等金額で投資することを基本とします。時価変動に伴い原則として半期ごとに等金額への調整(リバランス)を実施します。

マグニフィセント・セブン(M7)への投資後は、保有を維持します。ただし、信用状態の著しい悪化等今後継続的に株価下落が見込まれると委託会社が判断した場合には、これを売却することがあります。この場合、委託会社の判断で他の米国大型テクノロジー株式を新たに組み入れることがあります。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要	
	(2024年3月22日~2025年3月26日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬	72円	0.602%	(a)信託報酬=[期中の平均基準価額]×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,900円です。 信託報酬に係る消費税は(当作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価	
(投信会社)	(33)	(0.279)		
(販売会社)	(33)	(0.279)		
(受託会社)	(5)	(0.045)		
(b) 売買委託手数料	4	0.032	(b)売買委託手数料=[期中の売買委託手数料] [期中の平均受益権口数]×10,000 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払 う手数料	
(株式)	(4)	(0.032)		
(新株予約権証券)	(-)	(-)		
(オプション証券等)	(-)	(-)		
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)		
(投資信託証券)	(-)	(-)		
(商品)	(-)	(-)		
(先物・オプション)	(-)	(-)		
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税=[期中の有価証券取引税] [期中の平均受益権口数]×10,000 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金	
(株式)	(0)	(0.001)		
(新株予約権証券)	(-)	(-)		
(オプション証券等)	(-)	(-)		
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)		
(公社債)	(-)	(-)		
(投資信託証券)	(-)	(-)		
(d) その他費用	4	0.035	(d)その他費用=[期中のその他費用] [期中の平均受益権口数]×10,000	
(保管費用)	(3)	(0.029)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保 管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用	
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用	
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用	
合計	80	0.670		

(注1)期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なわ、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファン
ドに対応するものを含みます。

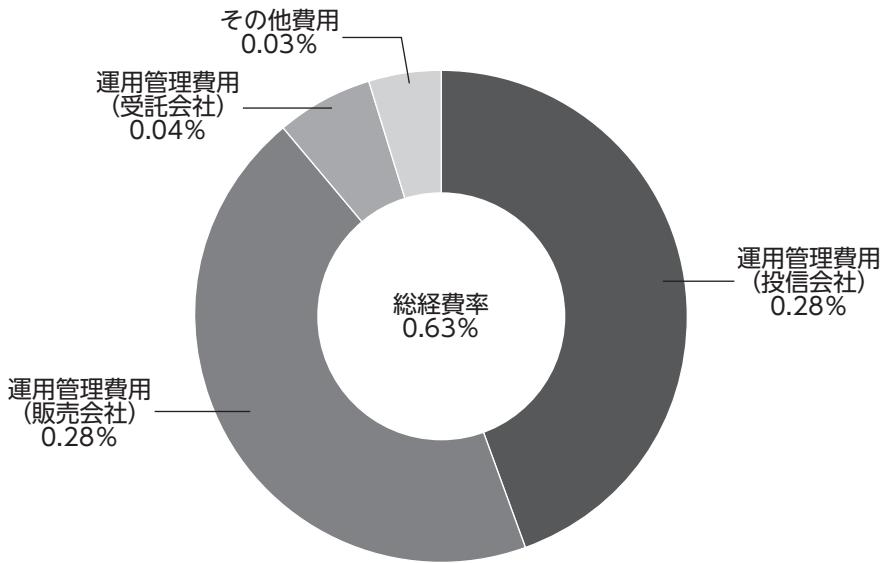
(注2)各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3)「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報>

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.63%です。



(注1)各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況

＜親投資信託受益証券の設定、解約状況＞

	当期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
米国大型テクノロジー株式マザーファンド	千口 11,403,937	千円 13,284,245	千口 1,818,784	千円 1,991,148

株式売買比率

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

＜米国大型テクノロジー株式マザーファンド＞

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	14,439,717千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,925,473千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	2.08

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) (c) 売買高比率は小数点第3位以下を切り捨てています。

利害関係人※との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区分	当期					
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
金銭信託	百万円 0.146630	百万円 0.146630	% 100.0	百万円 0.146630	百万円 0.146630	% 100.0
コール・ローン	14,403	2,701	18.8	14,325	2,694	18.8

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

＜米国大型テクノロジー株式マザーファンド＞

区分	当期					
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
為替直物取引	百万円 12,385	百万円 8,136	% 65.7	百万円 1,151	百万円 1,026	% 89.1
金銭信託	0.585868	0.585868	100.0	0.585868	0.585868	100.0
コール・ローン	24,166	4,542	18.8	24,108	4,537	18.8

〈平均保有割合 100.0%〉

(注1) 平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

(注2) 当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況

当期首残高 (元 千円 一)	当期設定本 元 千円 50,000	当期解約本 元 千円 50,000	当期末残高 (元 千円 一)	取引の理由
				当初設定時における取得およびその解約

組入資産の明細

<親投資信託残高>

種類	当期末		
	口数	評価額	千円
米国大型テクノロジー株式マザーファンド	9,585,153	11,309,522	

(注)親投資信託の当期末現在の受益権総口数は、9,585,153千口です。

投資信託財産の構成

項目	当期末	
	評価額	比率
米国大型テクノロジー株式マザーファンド	千円 11,309,522	% 99.3
コール・ローン等、その他	78,239	0.7
投資信託財産総額	11,387,761	100.0

(注1)米国大型テクノロジー株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(11,251,822千円)の投資信託財産総額(11,309,147千円)に対する比率は99.5%です。

(注2)外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1米ドル=150.20円

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	当期末 2025年3月26日現在
(A) 資産	11,387,761,177円
コール・ローン等	78,237,465
米国大型テクノロジー株式 マザーファンド(評価額)	11,309,522,713
未 収 利 息	999
(B) 負債	72,621,585
未 払 解 約 金	42,623,734
未 払 信 託 報 酬	29,722,699
そ の 他 未 払 費 用	275,152
(C) 純資産総額(A-B)	11,315,139,592
元 本	9,236,808,644
次期繰越損益金	2,078,330,948
(D) 受益権総口数	9,236,808,644口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,250円

■損益の状況

項目	当期 自 2024年3月22日 至 2025年3月26日
(A)配当等収益 受取利息	146,872円 146,872
(B)有価証券売買損益 売買益	△459,411,992 197,622,873
売買損	△657,034,865
(C)信託報酬等	△44,362,974
(D)当期損益金(A+B+C)	△503,628,094
(E)追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	2,581,959,042 (7,875) (2,581,951,167)
(F)計(D+E)	2,078,330,948
(G)収益分配金 次期繰越損益金(F+G)	0 2,078,330,948
追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	2,581,959,042 (2,770,512) (2,579,188,530)
繰越損益金	△503,628,094

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

*当ファンドの期首元本額は50,000,000円、期中追加設定元本額は15,373,040,959円、期中一部解約元本額は6,186,232,315円です。

*分配金の計算過程

項目	当期
(A)配当等収益額(費用控除後)	一円
(B)有価証券売買等損益額(費用控除後・繰越欠損金補填後)	一円
(C)収益調整金額	2,078,330,948円
(D)分配準備積立金額	一円
(E)分配対象収益額(A+B+C+D)	2,078,330,948円
(F)期末残存口数	9,236,808,644口
(G)収益分配対象額(1万口当たり)(E/F×10,000)	2,250円
(H)分配金額(1万口当たり)	一円
(I)収益分配金額(F×H/10,000)	一円

お知らせ

該当事項はありません。

米国大型テクノロジー株式マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日 2025年3月26日）

当親投資信託の仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2024年3月22日から無期限です。
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	米国の金融商品取引所等に上場している株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。 デリバティブ取引は、ヘッジ目的に限定します。

当親投資信託はこのたび上記の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申しあげます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。
- ・指標に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指標の開発元もしくは公表元に帰属します。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	株組入比率	株式先物率	投資信託券率	純資産額
設定日(2024年3月22日)	円 10,000	% —	% —	% —	百万円 49
第1期(2025年3月26日)	11,799	18.0	98.2	—	11,309

(注)株式先物比率は「買建比率－売建比率」です。

当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額	株組入比率	株式先物率	投資信託券率
(設定日) 2024年 3月22日	円 10,000	% —	% —	% —
3月末	9,487	△5.1	103.7	—
4月末	9,853	△1.5	98.3	—
5月末	10,393	3.9	98.5	—
6月末	11,800	18.0	97.8	—
7月末	10,610	6.1	98.9	—
8月末	10,189	1.9	98.5	—
9月末	10,763	7.6	97.4	—
10月末	12,064	20.6	98.3	—
11月末	12,265	22.7	97.6	—
12月末	14,197	42.0	96.7	—
2025年 1月末	13,715	37.2	96.7	—
2月末	11,878	18.8	98.7	—
(当期末) 2025年 3月26日	11,799	18.0	98.2	—

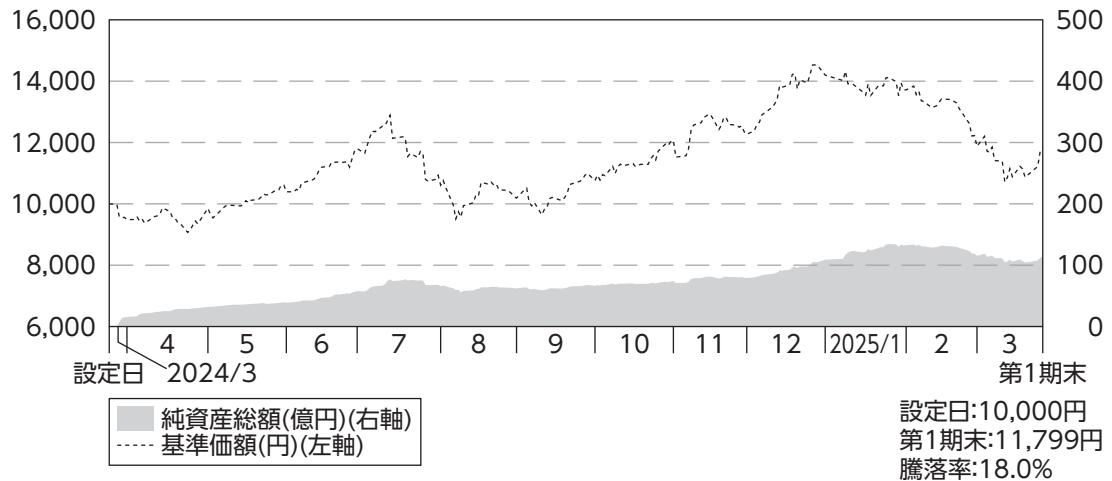
(注1)騰落率は設定日比です。

(注2)株式先物比率は「買建比率－売建比率」です。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移



基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

生成AI(人工知能)市場拡大への期待感から、当ファンドで保有する銘柄群が堅調に推移したことから、基準価額は上昇しました。

投資環境



米国株式市場は、生成AI(人工知能)市場拡大への期待感から上昇しました。トランプ大統領による関税政策などが経済に及ぼす影響が懸念され下落する場面もありましたが、期を通じて上昇して終えました。

当ファンドのポートフォリオ

米国の金融商品取引所等に上場している米国を代表する大型テクノロジー株式7銘柄に集中投資することを基本戦略とし、中長期的な信託財産の成長を目指し運用を行いました。

当ファンドの組入資産の内容

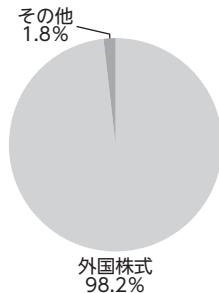
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	TESLA INC	アメリカ	14.6%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	14.6%
3	AMAZON.COM	アメリカ	14.0%
4	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	14.0%
5	MICROSOFT CORP	アメリカ	14.0%
6	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	13.5%

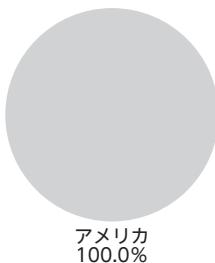
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	APPLE INC	アメリカ	13.5%
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		7	

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

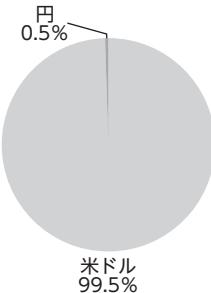
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。
その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

今後の運用方針

米国を代表する大型テクノロジー株式7銘柄(以下、「マグニフィセント・セブン」又は「M7」と呼びます)に集中投資することを基本戦略とします。

マグニフィセント・セブン(M7)とは、アマゾン・ドット・コム、アップル、アルファベット、エヌビディア、テスラ、マイクロソフト、メタ・プラットフォームズの7銘柄を指します。

各銘柄には等金額で投資することを基本とします。時価変動に伴い原則として半期ごとに等金額への調整(リバランス)を実施します。

マグニフィセント・セブン(M7)への投資後は、保有を維持します。ただし、信用状態の著しい悪化等今後継続的に株価下落が見込まれると委託会社が判断した場合には、これを売却することができます。この場合、委託会社の判断で他の米国大型テクノロジー株式を新たに組み入れることができます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要	
	(2024年3月22日~2025年3月26日)			
	金額	比率		
(a) 売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (投資信託証券) (商品) (先物・オプション)	4円 (4) (-) (-) (-) (-) (-) (-)	0.032% (0.032) (-) (-) (-) (-) (-) (-)	(a) 売買委託手数料= $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]}$ ×10,000 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料	
(b) 有価証券取引税 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (公社債) (投資信託証券)	0 (0) (-) (-) (-) (-)	0.001 (0.001) (-) (-) (-) (-)	(b) 有価証券取引税= $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]}$ ×10,000 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金	
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	3 (3) (-) (0)	0.029 (0.029) (-) (0.000)	(c) その他費用= $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]}$ ×10,000 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用	
合計	7	0.062		

(注1)期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2)各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注3)「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額(11,434円)で除して100を乗じたものです。

売買および取引の状況

＜株式＞

		当期			
		買付		売付	
外 国	ア メ リ カ	株 数	金 額	株 数	金 額
		百株 3,449 (349)	千米ドル 82,511 (-)	百株 493	千米ドル 11,480

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

株式売買比率

＜株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合＞

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	14,439,717千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,925,473千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	2.08

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) (c) 売買高比率は小数点第3位以下を切り捨てています。

利害関係人※との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区分	当期					
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
為替直物取引	百万円 12,385	百万円 8,136	% 65.7	百万円 1,151	百万円 1,026	% 89.1
金銭信託	0.585868	0.585868	100.0	0.585868	0.585868	100.0
コール・ローン	24,166	4,542	18.8	24,108	4,537	18.8

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

<外国株式>

銘柄	当期末			業種等	
	株数 (百株)	評価額			
		外貨建金額	邦貨換算金額 (千円)		
(アメリカ)		千米ドル			
AMAZON.COM	512	10,545	1,583,905	一般消費財・サービス流通・小売り	
APPLE INC	452	10,131	1,521,803	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
NVIDIA CORP	911	10,996	1,651,663	半導体・半導体製造装置	
MICROSOFT CORP	266	10,525	1,580,927	ソフトウェア・サービス	
TESLA INC	382	11,009	1,653,676	自動車・自動車部品	
META PLATFORMS INC-CLASS A	162	10,188	1,530,265	メディア・娯楽	
ALPHABET INC-CL A	617	10,531	1,581,815	メディア・娯楽	
合計	株数・金額	3,305	73,928	11,104,057	
	銘柄数 <比率>	7	—	<98.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) <>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

投資信託財産の構成

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 11,104,057	% 98.2
コール・ローン等、その他	205,090	1.8
投資信託財産総額	11,309,147	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(11,251,822千円)の投資信託財産総額(11,309,147千円)に対する比率は99.5%です。

(注2) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1米ドル=150.20円

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	当期末 2025年3月26日現在
(A) 資産	11,309,147,928円
コール・ローン等	203,809,498
株式(評価額)	11,104,057,829
未収配当金	1,279,869
未収利息	732
(B) 純資産総額(A)	11,309,147,928
元本	9,585,153,584
次期繰越損益金	1,723,994,344
(C) 受益権総口数	9,585,153,584口
1万口当たり基準価額(B/C)	11,799円

■損益の状況

項目	当期 自2024年3月22日至2025年3月26日
(A) 配当等収益	21,261,874円
受取配当金	18,840,411
受取利息	2,421,463
(B) 有価証券売買損益	△3,227,846
売買益	661,623,028
売買損	△664,850,874
(C) その他費用	△1,983,070
(D) 当期損益金(A+B+C)	16,050,958
(E) 追加信託差損益金	1,880,307,782
(F) 解約差損益金	△172,364,396
(G) 計(D+E+F)	1,723,994,344
次期繰越損益金(G)	1,723,994,344

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は49,975,000円、期中追加設定元本額は11,353,962,615円、期中一部解約元本額は1,818,784,031円です。

※当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は次の通りです。

米国大型テクノロジー株式ファンド

9,585,153,584円

お知らせ

該当事項はありません。